

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公表番号】特表2005-533760(P2005-533760A)

【公表日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-044

【出願番号】特願2003-586144(P2003-586144)

【国際特許分類】

C 07 C	49/84	(2006.01)
A 61 K	9/20	(2006.01)
A 61 K	9/48	(2006.01)
A 61 K	31/121	(2006.01)
A 61 K	31/353	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
C 07 C	45/74	(2006.01)
C 07 D	311/28	(2006.01)

【F I】

C 07 C	49/84	C S P E
A 61 K	9/20	
A 61 K	9/48	
A 61 K	31/121	
A 61 K	31/353	
A 61 P	35/00	
C 07 C	45/74	
C 07 D	311/28	
C 07 M	7:00	
C 07 M	9:00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月10日(2006.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

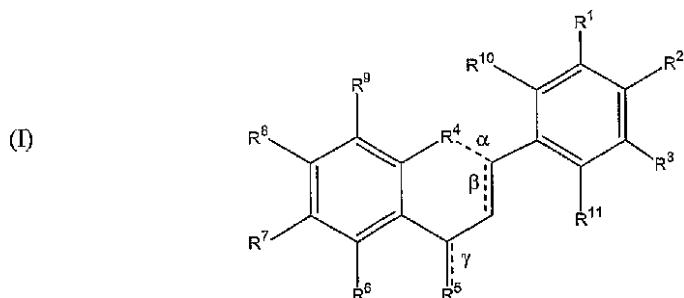
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の式(I)：

【化1】



を有する化合物であつて、

、<sup>1</sup>、<sup>2</sup>、<sup>3</sup>が、任意の結合であり、但し<sup>4</sup>が存在しない場合、<sup>5</sup>が存在し、そして<sup>6</sup>が存在しない場合、<sup>7</sup>が存在し；

<sup>1</sup>、<sup>2</sup>および<sup>3</sup>が、ヒドロキシル、ハロ、スルフヒドリル、アルコキシ、アリールオキシ、およびアラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに、<sup>1</sup>および<sup>2</sup>または<sup>3</sup>および<sup>4</sup>のいずれかが、結合されて環式基を形成し得；

が存在する場合、<sup>4</sup>は、O、S、NR<sup>x</sup>、およびCR<sup>y</sup>R<sup>z</sup>から選択され、そして<sup>5</sup>が存在しない場合、<sup>4</sup>は、OH、SH、NHR<sup>x</sup>およびCR<sup>y</sup>R<sup>z</sup>Hから選択され、R<sup>x</sup>、R<sup>y</sup>およびR<sup>z</sup>が、水素またはアルキルであり；

が存在する場合、<sup>5</sup>は、O、SまたはNR<sup>x</sup>であり；

が存在しない場合、<sup>5</sup>は、OH、SH、アシルオキシおよびN(R<sup>x</sup>)<sub>2</sub>からなる群から選択され、R<sup>x</sup>は、同じでも異なっていても良く、以前に定義される通りであり；

<sup>6</sup>、<sup>7</sup>、<sup>8</sup>および<sup>9</sup>は、水素、アルキル、アルケニル、アリール、アラルキル、アルコキシ、アリールオキシ、およびアラルキルオキシからなる群から独立して選択され、<sup>6</sup>および<sup>7</sup>、<sup>7</sup>および<sup>8</sup>、または<sup>8</sup>および<sup>9</sup>が、一緒に結合されて五員環、六員環ならびに縮合した五員環および/または六員環から選択される環式構造を形成し得、該環式構造は、芳香族構造、脂環式構造、複素環式芳香族構造、または複素環式脂環式構造であり、そして0個～4個の非水素置換基および0個～3個のヘテロ原子を有し；そして

<sup>1</sup><sup>0</sup>および<sup>1</sup><sup>1</sup>が、水素、ヒドロキシル、アルキル、アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択される、化合物。

### 【請求項2】

請求項1に記載の化合物であって、<sup>1</sup>、<sup>2</sup>および<sup>3</sup>が、ヒドロキシル、ハロ、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>5</sub>-C<sub>1</sub><sub>2</sub>アリールオキシ、およびC<sub>5</sub>-C<sub>1</sub><sub>2</sub>アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに<sup>1</sup>および<sup>2</sup>または<sup>2</sup>および<sup>3</sup>のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される2原子結合または3原子結合を形成し得、

が存在する場合、<sup>4</sup>は、O、S、NHおよびCH<sub>2</sub>から選択され、そして<sup>5</sup>が存在しない場合、<sup>4</sup>は、OH、SH、NH<sub>2</sub>およびCH<sub>3</sub>から選択され；

が存在する場合、<sup>5</sup>は、OまたはNHであり；

が存在しない場合、<sup>5</sup>は、OH、C<sub>6</sub>-C<sub>3</sub><sub>2</sub>アシルオキシおよびNH<sub>2</sub>からなる群から選択され；

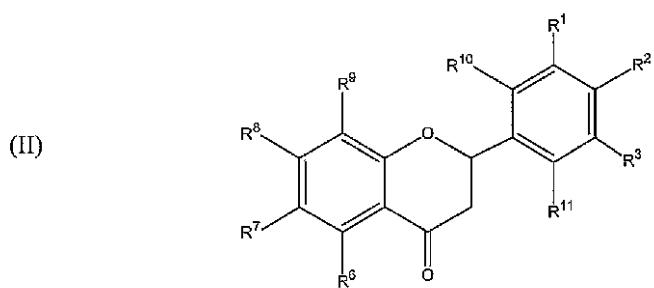
<sup>6</sup>、<sup>7</sup>、<sup>8</sup>および<sup>9</sup>は、水素、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>5</sub>-C<sub>1</sub><sub>2</sub>アリールオキシ、およびC<sub>5</sub>-C<sub>1</sub><sub>2</sub>アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または<sup>6</sup>および<sup>7</sup>が、一緒に結合されてシクロヘキシリル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして<sup>8</sup>および<sup>9</sup>が、水素であり、または<sup>8</sup>および<sup>9</sup>が、一緒に結合されてシクロヘキシリル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして<sup>6</sup>および<sup>7</sup>が水素であり；そして

<sup>1</sup><sup>0</sup>および<sup>1</sup><sup>1</sup>が、水素、ヒドロキシル、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択される、化合物。

### 【請求項3】

請求項2に記載の化合物であって、<sup>5</sup>および<sup>6</sup>が存在し、<sup>7</sup>が存在せず、<sup>4</sup>がOであり、そして<sup>5</sup>がOであり、その結果該化合物が、以下の式(I)の化合物：

## 【化2】



を有する、化合物。

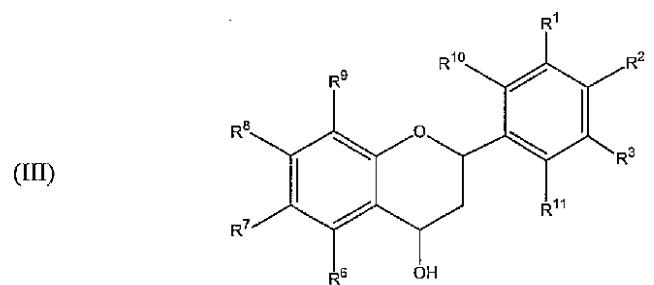
## 【請求項4】

請求項3に記載の化合物であって、R<sup>1</sup><sup>0</sup>およびR<sup>1</sup><sup>1</sup>が、水素である、化合物。

## 【請求項5】

請求項2に記載の化合物であって、<sup>1</sup>が存在しており、<sup>2</sup>および<sup>3</sup>が存在せず、R<sup>4</sup>がOであり、そしてR<sup>5</sup>がOHであり、その結果該化合物が、以下の式(II)：

## 【化3】



の構造を有する、化合物。

## 【請求項6】

2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-シス、2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-シス、2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-トランスまたは2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-トランス立体配置においてエナンチオマーとして純粋な形態である、請求項5に記載の化合物。

## 【請求項7】

請求項5に記載の化合物であって、該化合物が、2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-トランスエナンチオンマーおよび2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-トランスエナンチオマーのラセミ混合物を含む、化合物。

## 【請求項8】

請求項5に記載の化合物であって、該化合物が、2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-シスエナンチオンマーおよび2<sup>1</sup>, 4<sup>2</sup>-シスエナンチオマーのラセミ混合物を含む、化合物。

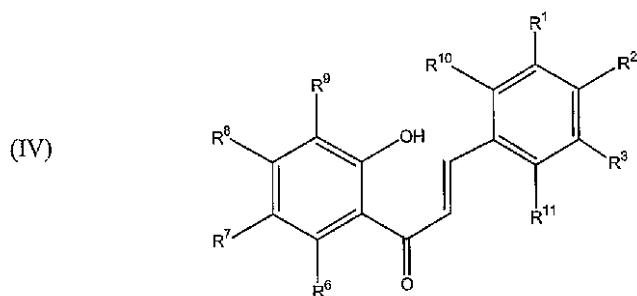
## 【請求項9】

請求項5に記載の化合物であって、R<sup>1</sup><sup>0</sup>およびR<sup>1</sup><sup>1</sup>が、水素である、化合物。

## 【請求項10】

請求項2に記載の化合物であって、<sup>1</sup>および<sup>2</sup>が存在し、<sup>3</sup>が存在せず、R<sup>4</sup>がOHであり、そしてR<sup>5</sup>がOであり、その結果該化合物が、以下の式(IV)の化合物：

## 【化4】



を有する、化合物。

## 【請求項11】

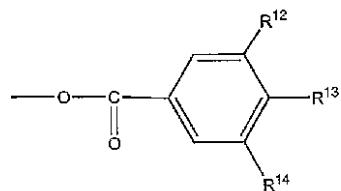
請求項2に記載の化合物であって、

$R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ が、同一であり、 $C_1 - C_6$ アルコキシおよび $C_5 - C_{12}$ アラルキルオキシからなる群から選択され；

が存在する場合、 $R^4$ は、Oであり、そしてが存在しない場合、 $R^4$ は、OHであり；

が存在する場合、 $R^5$ は、Oであり、そしてが存在しない場合、 $R^5$ は、ヒドロキシルおよび以下の構造：

## 【化5】



を有するアシリルオキシ置換基からなる群から選択され、 $R^{1-2}$ 、 $R^{1-3}$ および $R^{1-4}$ は、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、および $C_5 - C_{12}$ アラルキルオキシからなる群から独立して選択され；そして

(a)  $R^6$ および $R^7$ は、一緒に結合されてフェニル環を形成し得、そして $R^8$ および $R^9$ は水素であり、(b)  $R^8$ および $R^9$ は、一緒に結合されてフェニル環を結合し、そして $R^6$ および $R^7$ は、水素であり、(c)  $R^7$ および $R^8$ は、一緒に結合されてシクロヘキシル環を形成し、そして $R^6$ および $R^9$ は水素であり、または(d)  $R^6$ および $R^8$ は、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、または $C_5 - C_{12}$ アラルキルオキシであり、そして $R^7$ および $R^9$ は、水素であり；そして

$R^{1-0}$ および $R^{1-1}$ は、水素である、化合物。

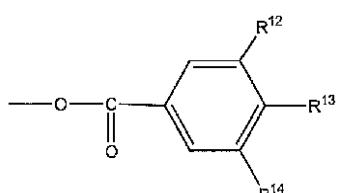
## 【請求項12】

請求項11に記載の化合物であって、

$R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ が、メトキシおよびベンジルオキシからなる群から選択され；

が存在しない場合、 $R^5$ が、ヒドロキシルおよび以下の構造：

## 【化6】



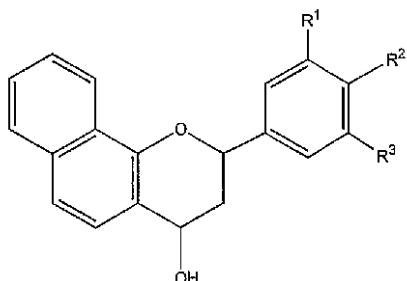
を有するアシリルオキシ置換基からなる群から選択され、R<sup>1～2</sup>、R<sup>1～3</sup>およびR<sup>1～4</sup>が、メトキシおよびベンジルオキシからなる群から独立して選択され、そしてR<sup>8</sup>およびR<sup>9</sup>が、共に結合されてフェニル環を形成する、化合物。

**【請求項 13】**

以下の式(V)：

**【化7】**

(V)



に記載の構造を有する、請求項12に記載の化合物。

**【請求項 14】**

請求項13に記載の化合物であって、該化合物が、2,4-トランスエナンチオマーおよび2,4-トランスエナンチオマーのラセミ混合物を含む、化合物。

**【請求項 15】**

請求項12に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>が、メトキシである、化合物。

**【請求項 16】**

請求項13に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>が、メトキシである、化合物。

**【請求項 17】**

請求項14に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>が、メトキシである、化合物。

**【請求項 18】**

請求項12に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>が、ベンジルオキシである、化合物。

**【請求項 19】**

請求項13に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>が、ベンジルオキシである、化合物。

**【請求項 20】**

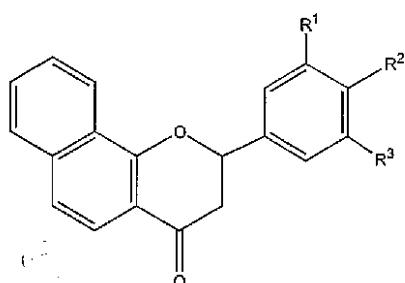
請求項14に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>が、ベンジルオキシである、化合物。

**【請求項 21】**

請求項12に記載の化合物であって、以下の式(VIII)：

**【化8】**

(VIII)



の構造を有する、化合物。

## 【請求項 2 2】

請求項 2 1 に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> が、メトキシである、化合物。

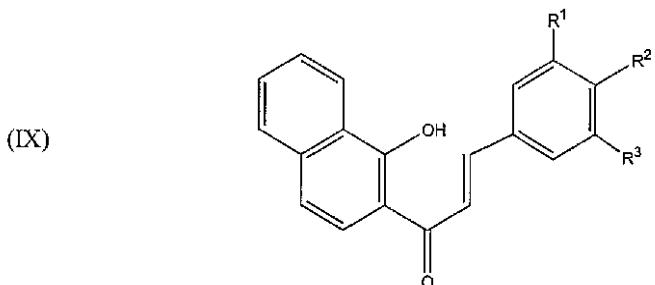
## 【請求項 2 3】

請求項 2 1 に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> が、ベンジルオキシである、化合物。

## 【請求項 2 4】

請求項 1 2 に記載の化合物であって、以下の式(IX)：

## 【化 9】



の構造を有する、化合物。

## 【請求項 2 5】

請求項 2 4 に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> が、メトキシである、化合物。

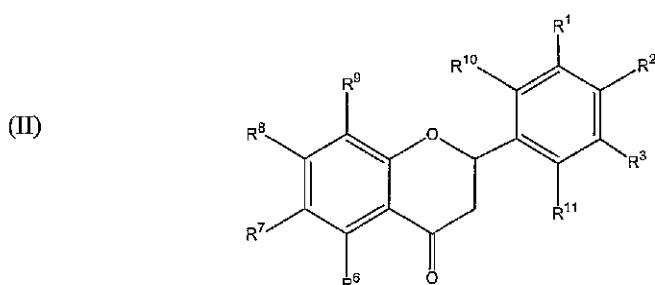
## 【請求項 2 6】

請求項 2 4 に記載の化合物であって、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> が、ベンジルオキシである、化合物。

## 【請求項 2 7】

以下の式(II)：

## 【化 10】



の構造を有するフラバノンを合成するための方法であって、

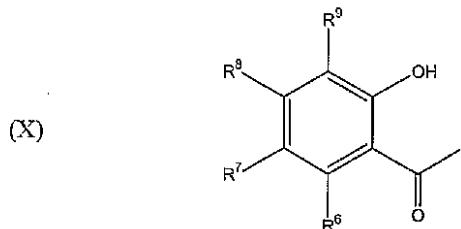
R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> が、ヒドロキシル、ハロ、C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> アルコキシ、C<sub>5</sub> - C<sub>12</sub> アリールオキシ、および C<sub>5</sub> - C<sub>12</sub> アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに R<sup>1</sup> および R<sup>2</sup> または R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される 2 原子結合または 3 原子結合を形成し得、

R<sup>6</sup>、R<sup>7</sup>、R<sup>8</sup> および R<sup>9</sup> は、水素、C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> アルコキシ、C<sub>5</sub> - C<sub>12</sub> アリールオキシ、および C<sub>5</sub> - C<sub>12</sub> アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または R<sup>6</sup> および R<sup>7</sup> が、一緒に結合されてシクロヘキシリル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして R<sup>8</sup> および R<sup>9</sup> が、水素であり、または R<sup>7</sup> および R<sup>8</sup> が、一緒に結合されてシクロヘキシリル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして R<sup>6</sup> および R<sup>9</sup> が水素であり、または R<sup>8</sup> および R<sup>9</sup> が、一緒に結合されてシクロヘキシリル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして R<sup>6</sup> および R<sup>7</sup> が水素であり、そして

$R^{1\sim 0}$  および  $R^{1\sim 1}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1\sim C_6$  アルキル、 $C_1\sim C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択され、

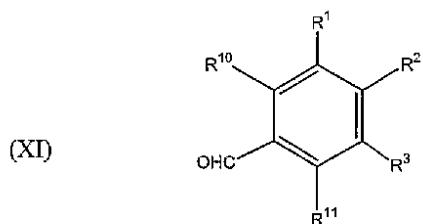
該方法が、以下のケトン(X)：

【化11】



を窒素含有有機塩基の存在下で以下の芳香族アルデヒド(XI)：

【化12】



と縮合する工程を包含する、方法。

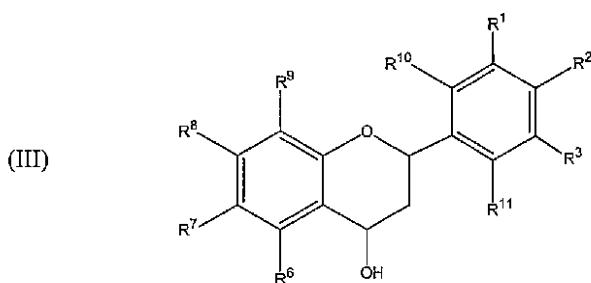
【請求項28】

請求項27に記載の方法であって、前記縮合が、還流条件下で実行される、方法。

【請求項29】

以下の式(III)：

【化13】



の構造を有するフラバノールを合成するための方法であって、

$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、 $C_1\sim C_6$  アルコキシ、 $C_5\sim C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5\sim C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに  $R^1$  および  $R^2$  または  $R^2$  および  $R^3$  のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される2原子結合または3原子結合を形成し得、

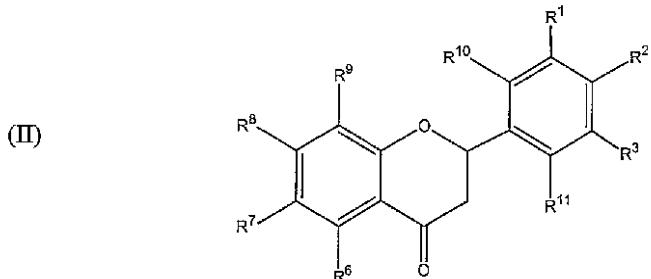
$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、 $C_1\sim C_6$  アルコキシ、 $C_5\sim C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5\sim C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または  $R^6$  および  $R^7$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^8$  および  $R^9$  が、水素であり、または  $R^7$  および  $R^8$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^9$  が水素であり、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^7$  が、水素であり、

そして

$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルキル、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択され、

該方法が、以下の構造 (II) :

【化 14】



を有するフラバノンを 4 - オキソ部分をヒドロキシル基に効果的に変える反応条件下で還元剤と接触させる工程を包含する、方法。

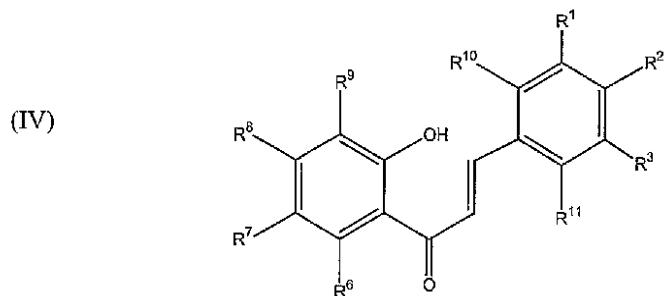
【請求項 30】

請求項 29 に記載の方法であって、前記還元剤が、水素化ホウ素ナトリウムである、方法。

【請求項 31】

以下の式 (IV) :

【化 15】



の構造を有するカルコンを合成するための方法であって、

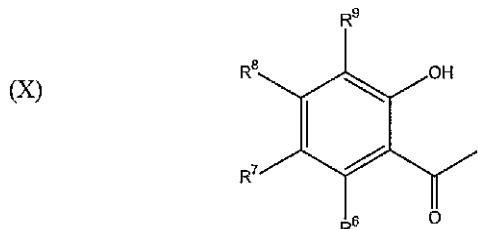
$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに  $R^1$  および  $R^2$  または  $R^2$  および  $R^3$  のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される 2 原子結合または 3 原子結合を形成し得、

$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または  $R^6$  および  $R^7$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^8$  および  $R^9$  が、水素であり、または  $R^7$  および  $R^8$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^9$  が水素であり、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^7$  が、水素であり、そして

$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルキル、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択され、

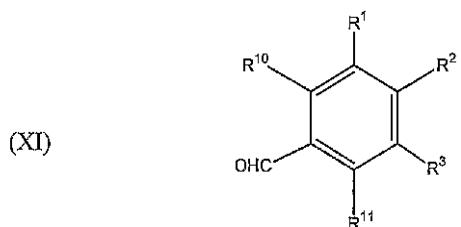
該方法が、以下のケトン (X) :

## 【化16】



を水性無機塩基の存在下で以下の芳香族アルデヒド(XI)：

## 【化17】



と反応させる工程を包含する、方法。

## 【請求項32】

請求項31に記載の方法であって、前記無機塩基が、アルカリ金属水酸化物である、方法。

## 【請求項33】

請求項32に記載の方法であって、前記アルカリ金属水酸化物が、水酸化カリウムである、方法。

## 【請求項34】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項1に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項35】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項3に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項36】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項5に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項37】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項7に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項38】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項10に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項39】

請求項34～38のいずれか1項に記載の組成物であって、前記薬学的に受容可能なキャリアが、経口投与のために適切であり、そして該組成物が、経口投薬形態を含む、組成物。

## 【請求項40】

請求項39に記載の組成物であって、前記経口投薬形態が、錠剤である、組成物。

## 【請求項41】

請求項39に記載の組成物であって、前記経口投薬形態が、カプセルである、組成物。

## 【請求項42】

請求項34～38のいずれか1項に記載の組成物であって、前記薬学的に受容可能なキャ

リアが、非経口投与のために適切であり、そして該組成物が、非経口的に投薬可能な処方物を含む、組成物。

【請求項 4 3】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 4】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 3 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 5】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 5 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 6】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 7 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 7】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 10 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 8】

請求項 4 3 ~ 4 7 のいずれか 1 項に記載の 使用 であって、前記癌が、前立腺癌、子宮癌または乳癌である、使用。

【請求項 4 9】

請求項 4 8 に記載の 使用 であって、前記癌が、乳癌である、使用。

【請求項 5 0】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 1】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 3 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 2】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 5 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 3】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 7 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 4】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 10 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 5】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 11 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 6】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 7】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 3 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 8】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 5 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 9】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 7 に記載の化合物の使用。

【請求項 6 0】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 10 に記載の化合物の使用。

**【請求項 6 1】**

治療有効量の請求項 1 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

**【請求項 6 2】**

治療有効量の請求項 3 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

**【請求項 6 3】**

治療有効量の請求項 5 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

**【請求項 6 4】**

治療有効量の請求項 7 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

**【請求項 6 5】**

治療有効量の請求項 10 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

**【請求項 6 6】**

請求項 6 1 ~ 6 5 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記癌が、前立腺癌、子宮癌または乳癌である、組成物。

**【請求項 6 7】**

請求項 6 6 に記載の組成物であって、前記癌が、乳癌である、組成物。

**【請求項 6 8】**

抗脈管形成有効量の請求項 1 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

**【請求項 6 9】**

抗脈管形成有効量の請求項 3 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

**【請求項 6 10】**

抗脈管形成有効量の請求項 5 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

**【請求項 7 1】**

抗脈管形成有効量の請求項 7 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

**【請求項 7 2】**

抗脈管形成有効量の請求項 10 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

**【請求項 7 3】**

抗脈管形成有効量の請求項 11 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

**【請求項 7 4】**

予防有効量の請求項 1 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

**【請求項 7 5】**

予防有効量の請求項 3 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

**【請求項 7 6】**

予防有効量の請求項 5 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

**【請求項 7 7】**

予防有効量の請求項 7 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

**【請求項 7 8】**

予防有効量の請求項 10 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。